

令和3年度 第1回久留米市上下水道事業運営審議会（要旨）

1 開催日時

令和3年10月20日(水) 13時30分から15時30分

2 会場

久留米市企業局庁舎 3階 第1会議室

3 出席委員・アドバイザー（名簿順）

・委員

広城吉成委員（会長）、香月孝文委員（副会長）、齊藤由里恵委員、
西野恵子委員、倉八啓壽委員、野口裕史委員

計6名

・アドバイザー

古川幸司氏、松田純一氏 計2名

4 欠席者

・委員

大森洋子委員、権藤裕子委員、野田周子委員 計3名

5 事務局（市職員等）

徳永企業管理者、石原上下水道部長、名嶋上下水道部次長、新原上下水道部技術担当次長、長野経理課長、柿原営業管理課長、橋本給排水設備課長、内野上水道整備課長、河野浄水管理センター所長、宮崎下水道整備課長、足立南部浄化センター所長（下川下水道施設課長代理）、牧ノ内河川課長、その他事務局職員等8名

【議事次第】

1 開会

2 企業管理者挨拶

3 委員等紹介

4 議題

（1）報告事項

①久留米市上下水道事業経営戦略について

－1 策定経緯について

－2 経営戦略内容について

②令和2年度決算報告について

－1 上水道事業について

－2 下水道事業について

（2）協議事項

①経営戦略の取組み状況について

－1 経営戦略推進体制について

－2 取組みにおける進捗状況と課題について

5 その他

次回 第2回久留米市上下水道事業運営審議会
令和4年2月中旬 開催予定

6 閉会

【配付資料】

- ・ 久留米市上下水道事業運営審議会委員名簿
- ・ 第1回久留米市上下水道事業運営審議会座席表
- ・ 久留米市水道事業 決算概要 ……決算資料①
- ・ 久留米市水道事業概要 ……決算資料②
- ・ 久留米市下水道事業 決算概要 ……決算資料③
- ・ 久留米市下水道事業概要 ……決算資料④
- ・ 経営戦略の取組み状況について～経営戦略推進体制について[推進体制]～
……経営戦略資料①
- ・ 経営戦略の取組み状況について～取組みにおける進捗状況と課題について～
……経営戦略資料②
- ・ 水道／下水道事業 進捗状況と課題／施策体系表
- ・ 久留米市上下水道事業経営戦略（概要版） ……冊子
- ・ 令和2年度久留米市水道事業会計決算書 ……参考資料
- ・ 令和2年度久留米市下水道事業会計決算書 ……参考資料
- ・ 令和2年度決算報告補足資料 ……参考資料

議事録要旨

1 開会

- 事務局より、委員の半数以上が出席しているため、会議が成立していることの報告
- 広城会長より、傍聴者の確認⇒傍聴者なし

2 企業管理者挨拶

事務局より、企業管理者挨拶

3 委員等紹介

事務局より新任の西野委員、野口委員、松田アドバイザーの紹介

4 議題

(1) 報告事項

①久留米市上下水道事業経営戦略について

(事務局より久留米市上下水道事業経営戦略（概要版）を用いて説明)

《質疑・応答》

○野口委員

基本的な質問だが、P 4の資料では田主丸地区の普及が久留米市の中で遅れているのが分かった。今後、令和12年度までの整備率は53%を目指すということだが、逆にP 5では整備を見直すと記載されている。田主丸地区の住民の意向はきいているのか。

■事務局（名嶋次長）

現時点では、田主丸地区の整備を行っているが、田主丸地区は地下水が豊富で、現状として、整備をしてもなかなか接続に繋がらない課題がある。経営戦略策定時は順次整備していくということで投資財政計画を策定したが、実態としてはこのような課題があるため、整備計画の見直しに向けての検討を行っている。

○野口委員

田主丸地区の人から困ったという声はないということか。

■事務局（名嶋次長）

水道がなくて困ったという意見は聞いていない。

②令和2年度決算報告について

ー 1 上水道事業について

（事務局より決算資料①久留米市水道事業決算概要及び決算資料②久留米市水道事業概要を用いて説明）

《質疑・応答》

○齊藤委員

1点目として、大口徑に係る水道料金収入の減少は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響によるものとの説明があったが、コロナ禍が終息したら回復する見込みなのか。それとも今後も減少する見通しなのかを確認したい。2点目として、決算資料②のP 2に令和3年度を初年度とする経営戦略に基づく見直しが必要とあるが、経営戦略を見直すということか確認したい。3点目として、決算資料②のP 2にQuoカードの配布とあるが、いくらQuoカードか。また、1,865件の申込みがあったとあるが、例年に比べてどうだったか確認したい。

■事務局（営業管理課 柿原課長）

1点目の大口徑に係る水道料金収入の減少傾向については、従来からの地下水の利用等による減少傾向に加えてコロナ禍による営業停止により、減少幅が増えた。今後は、新型コロナウイルス感染症の感染が落ち着けば昨年ほどの落ち込みはないと考えている。3点目のQuoカードについては500円分を配布し、口座振替登録件数の実績は例年の2倍ほどになった。

■事務局（名嶋次長）

2点目については、経営戦略を策定中の昨年度では、コロナ禍による影響は危惧していたが、明確には把握できていなかったため、決算結果を含めて推測をしているところである。今後の見通しについては、現状の料金収入では経営が厳しい。経営戦略においても収支が整わない場合、最終的には料金水準を見直すこととしているので、コロナ禍の影響も踏まえて、経営戦略の整合性が取れるように、見直しを図っていく。

○齊藤委員

経営戦略について、定期的に見直しを図っていくことは、当初から想定されていたが、実際にできるかも含めて検討してほしい。

また、和歌山で起きた水管橋崩落事故や東京都の地震による水道管破裂を受けて、水道管の耐震化にも関心が高まっている。東京都水道局の給水人口は、1,360万人であり、非常に多い。水道管破裂は夜9時くらいから、都内23箇所において、漏水が発生していたが、朝6時には復旧していた。その復旧の速さにはとても驚かされた。予期しない事態に対応できる組織力についても重要な課題だと思う。今後経営戦略の見直しを行っていく中で、施設の耐震化などの課題と合わせて、人材の確保及び育成も課題に挙げていただきたい。

○西野委員

1点目として、決算資料②のP1に行政区域、給水区域、現在給水について、用語の定義を教えてください。

2点目として、決算資料②のP2に口座振替の推進について、口座振替をしていないどれくらいの率に対してこのアプローチを図ろうと思ったのか。

■事務局（上水道整備課 内野課長）

行政区域については久留米市の行政人口である。給水区域は県の認可を受けて給水を行うこととしたエリアの人口である。現在給水は上水道を整備した区域における、給水可能な人口である。

■事務局（営業管理課 柿原課長）

口座振替の利用率は現在78%であるが、収納コスト、収納率の両面から、利点があるため、さらに口座振替の利用率を上げるべく推進している。

○香月副会長

決算資料①のP11について、費用の減損損失の35,643千円の科目は初めて出た科目と思うので説明願いたい。

■事務局（経理課 長野課長）

水道事業決算書P12,13に説明を記載している。減損会計については、平成26年度に公営企業会計に大幅な見直しがなされ、今後収益を見出さない資産については、単年度で損益処理をする基準が設けられた。平成30年度の包括外部監査で対応するよう指摘があり、令和元年度に予算要求し、執行したものが令和2年度に反映さ

れている。まず資産毎にグルーピングをし、減損の兆候について判断をし、執行した。減損損失を認識した固定資産について、過去に計画を予定していた事業の設計委託の5件について、資産に結び付いていないので、令和2年度に減損損失して計上した。

○香月副会長

今後、策定された計画を実行する中で、計画を途中で断念された場合は、過去の投資を回収できない可能性がある。令和2年度は予算要求後に減損処理をされたが、事前に分かっていた案件でもあるため、今後は同じことがないように、適正な会計処理をお願いしたい。

－2 下水道事業について

(事務局より決算資料③久留米市下水道事業決算概要及び決算資料④久留米市下水道事業概要を用いて説明)

《質疑・応答》

○香月副会長

決算資料③のP4について、長期推移のグラフで令和元年度と令和2年度で数値が上がっている。P11の雨水処理負担金と連動するものではないかと思うがいかがか。

■事務局（経理課 長野課長）

補足資料P7の表に示すように、下水道は管渠、ポンプ場、処理場の施設を使って事業を実施していくが、この中に雨水処理に関する部分も含まれている。雨水処理費としては、収益的支出の管渠費では64,737千円、ポンプ場費では30,932千円、減価償却費と企業債等利息では、汚水と雨水で按分した雨水費用での合計297,096千円となる。令和2年度の負担金が増えているということになるので、管渠費、ポンプ費等の金額が増えて、雨水処理費として計上されて負担金になっている。

○香月副会長

雨水事業の急激な事業費を汚水事業費で賄っているのではないということか。

■事務局（経理課 長野課長）

そうである。

○齊藤委員

1点目として、決算資料③のP1及び決算資料④のP1の接続率について、戸数ベースの方が人口ベースよりも高くなっているが、事業系が増えているのか。接続率が上がらない要因等の状況を伺いたい。

2点目として、決算資料④のP2の取組内容における融資あっせん件数14件の内訳としては新しく面整備されたところが多いのか教えてほしい。

■事務局（営業管理課 柿原課長）

人口の接続率については接続されている人数をカウントし、戸数の接続率については、接続されている戸数でカウントしている。市の周辺部では、高齢化が進んでいる地域において家を継ぐ人がいない、既に合併浄化槽を設置済等の理由により、接続率が上がらない状況である。

○齊藤委員

人口ベースの接続率より戸数ベースの方が上回っているのはどういうことか。

■事務局（営業管理課 柿原課長）

近年、人口は減少しているが、世帯数は生活スタイルの変化により、単身者や一人世帯の増加等により、戸数ベースの接続率が増加しているためである。

■事務局（給排水設備課 橋本課長）

融資あっせん件数14件の内訳については後で報告いたします。

【後日報告】

融資あっせんと供用開始時期について

	融資あっせん件数	申請された物件の供用開始時期	
		当該年度	左記以前
令和2年度	14件	7件(50%)	7件(50%)

○広城会長

現時点で15時を超えている。事務局においては、説明時間を精査していただきたい。

(2) 協議事項

①経営戦略の取組み状況について

(事務局より経営戦略資料①経営戦略の取組み状況について～経営戦略推進体制[推進体制]～を用いて説明)

《質疑・応答》

質疑なし

(事務局より経営戦略資料②経営戦略の取組み状況について～取組みにおける進捗状況と課題について～を用いて水道事業を説明)

《質疑・応答》

質疑なし

(事務局より経営戦略資料②経営戦略の取組み状況について～取組みにおける進捗状況と課題について～を用いて下水道事業を説明)

《質疑・応答》

○野口委員

経営戦略資料②P 6の雨水施設整備について、金丸川・池町川で大雨が降ると、鳥飼校区で、床下浸水の被害が発生しているが具体的な対策を検討されているか。

■事務局（河川課 牧之内課長）

国・県・市共同で総合内水対策計画を策定している。国・県・市でそれぞれ役割があり、具体的に金丸川でいうと、国は古賀坂排水機場のポンプの増設を行う。県は、地下貯留地の設置を行う。市は、川からの逆流を防止するゲートや雨水幹線の整備を行う。下弓削川については、国は枝光排水機場のポンプの増設を行う。県は、護岸の嵩上げを行う。市は、久留米大学のグラウンドを掘り下げて貯留地にするほか、使わなくなった溜池を活用し貯留池にし、下流へ一気に流れないようにするなど、国・県・市がお互いに事業を行い、総合的に浸水被害対策を実行している。すべてが完成するのは、令和6年度であり、段階的に効果は表れてくると考えている。

（全体を通して）

○広城委員

古川アドバイザーに久留米市の水道事業におけるPDCAについてご意見いただきたい。松田アドバイザーに、今後の補助金の動向についてアドバイスをいただきたい。

○古川アドバイザー

これからの水道事業は、施設の老朽化対策や耐震化の対策など、非常に多額の費用が発生するため、中長期を見据えた計画である経営戦略や水道ビジョンが必要となる。久留米市としても、今後の多額の設備投資費用が発生するが、一方で財源である料金収入が減少していくため、経営として非常に厳しいものがある。一番気をつけたいといけなことは、水道の安定供給であり、そのために、様々な施策を実施していかなければならない。福岡県としても、各事業体の実状に応じた動きを注視して、対応できるようにしたい。

○松田アドバイザー

「経営戦略資料②経営戦略の取組み状況」について、進捗管理を戦略に沿って整理され、また組織体制もそれに沿ってできている。また、進捗と課題についてもフォローアップしたものを落とし込まれていて、とても見やすく整理されている。

資料の中では「国の予算の動向に注視して等」の文言が数多くあるが、国の政策課題として、未普及対策や老朽化対策のほか、豪雨に対する雨水対策等挙げられ、雨水対策の推進は喫緊の課題である。これまでの令和8年概成ということでの取組みもあるが、国土交通省では流域治水の概念を打ち出し、雨水対策は下水道事業だけでなく、河川とその流域全体で対応するといった施策連携で取り組むこととしている。そうしないと、人の命を守れない。

そのような取り組みをここ数年打ち出して、国土交通省の予算としてもそこに力を入れ、それは下水道事業の予算のみを増やすのみではだめで、河川や流域対策の予算も増やし、また国の予算だけではなく、県、市の予算も増やし、全体で取り組

む、そういった雨水対策を強化していきたい。さらに、ストックマネジメントでもあった老朽化対策などの予算についてもご要望は聞いているので、これとのバランスを見ながら、これまでの事業も継続できるように、ご期待に添いたいと思っている。

5 その他

■事務局より、会議議事録の公開及び次回の審議会開催日程（2月中旬頃を予定）について連絡

6 閉会

○広城会長より、閉会のあいさつ